



Japan International Cooperation Agency

Thailand Office

31<sup>st</sup> Floor, Exchange Tower, 388 Sukhumvit Road, Klongtoey Bangkok 10110

TEL: (+66) 2-261-5250 FAX: (+66) 2-261-5262 URL: <http://www.jica.go.jp>

## PRESS RELEASE

■Contact

- JICA Thailand Office: Ms. Ayumi Yuasa

July 15, 2011  
JICA タイ事務所

### コミュニティでの高齢者向けサービスのモデル事業の全国会議 ～タイで急速に進む高齢化への日タイ共同の試み～

急激に高齢化が進行しつつあるタイにおいては、近い将来に訪れる高齢社会への備えが、重要な国家課題の一つになっており、JICA は、タイ国保健省、社会開発・人間の安全保障省とともに、コミュニティにおける高齢者の暮らしをよりよく支えるモデルの構築を目指した技術協力「コミュニティにおける高齢者向け保健医療・福祉サービスの統合型モデル形成プロジェクト」を 2007 年 11 月から 4 年間の予定で実施しています。

2011 年 11 月のプロジェクト終了を前に、これまで日本人専門家の協力のもと実施し構築してきたモデルの全国への普及を目指した全国会議を 7 月 29 日(金)に開催し、これまでの活動の成果の発表や成果を踏まえたパネル討議を行うこととなりました。

全国会議では、全国各地の保健省、社会開発・人間の安全保障省や自治体の関係者の他、高齢者クラブやボランティアの方々など、コミュニティでの保健医療福祉に携わる多くの方々の参加が予定されています。

全国会議の詳細とプロジェクトの概要については別添をご参照下さい。

タイ側からは保健省事務次官、社会開発・人間の安全保障省事務次官、日本側からは小島誠二特命全権大使、米田 JICA タイ事務所長が参加、日本人専門家がパネル討議や発表をする予定です。

参加を希望される方は、お手数ですが、7月25日(月)までに、以下連絡先にお名前と社名をご連絡いただくようお願いします。

【お問い合わせ先】

連絡先: JICAタイ事務所 湯浅 あゆ美

TEL: JICAタイ事務所 02-261-5250(内線128) / FAX: 02-261-5262 / e-mail: [Yuasa.Ayumi@jica.go.jp](mailto:Yuasa.Ayumi@jica.go.jp)

## タイのコミュニティにおける高齢者向け保健医療・福祉サービスの総合型モデル形成 にかかわる全国会議(CTOP プロジェクト全国会議)

### 1: 全国会議

**日時:** 2011年7月29日(金) 09:00 - 14:30

**場所:** バンコク・Rama Garden Hotel (<http://www.ramagardenshotel.com/>)

**参加者数:** 250名から300名程度

(タイ全国の保健医療福祉関係者、自治体関係者、高齢者クラブ関係者など)

**趣旨:** アジアの中で先行して社会の高齢化が予測されるタイで、日本の技術協力のもと進められているコミュニティの高齢者保健福祉サービスモデルの発表、意見交換を目的とした全国会議。

#### 主なスケジュール(仮):

- 08:45 - 09:00 ビデオプレゼンテーション
- 09:00 - 09:20 パイジット保健省事務次官ご挨拶  
パニッタ社会開発・人間の安全保障省事務次官ご挨拶  
小島誠二特命全権大使ご挨拶
- 09:40 - 10:10 CTOP プロジェクトの成果報告: ポンテープ保健省事務次官補
- 10:10 - 11:00 各プロジェクトサイトの報告  
(チェンライ、コンケン、ノンタブリ、スラタニの各サイト)
- 11:00 - 12:30 パネル討議: CTOP の教訓を踏まえた高齢者政策  
保健省代表、社会開発・人間の安全保障省代表、  
内務省代表、国民医療保険庁代表、竹林 JICA チーフアドバイザー
- 11:00 - 12:30 昼食
- 13:30 - 14:00 日本の経験からの学び: 堀江厚生労働省課長(JICA 短期専門家)
- 14:00 - 14:30 特別講演: アモン元保健省事務次官

### 2: 背景

#### (1)CTOPプロジェクト:

2007年11月から4年間の予定で実施中の JICA 技術協力プロジェクト。タイの保健省、社会開発・人間の安全保障省と JICA が協力して、4地域で高齢者の保健福祉モデルの開発を推進。

- **正式名:** コミュニティにおける高齢者向け保健医療・福祉サービスの統合型モデル形成プロジェクト
- **略称:** **CTOP** = **C**ommunity Health Care and Social Welfare Services Model for **T**hai **O**lder **P**ersons
- **プロジェクト期間:** 2007年11月から4年間
- **実施機関:** JICA、保健省、社会開発・人間の安全保障省

#### (2)タイの高齢化の状況:

タイの60歳以上の高齢者比率は2010年の国連推計で11.5%となっており(日本は30.5%)、日本の1975年頃とほぼ同じ水準となっています。少子化も急速に進んでいて「合計特殊出生率」は1.65となっており、今後これまでの日本と同等以上のスピードで高齢化が進むことが予測されています。

### (3)タイの保健福祉サービス:

しかしながら、タイの保健福祉のサービスは限定的なものとなっています。医療については、老若を問わず、地域の病院で無料診療を受けられる仕組みが整えられていますが、人口当たりの医師・看護師数、入院ベッド数等は、極めて低い水準にあり、また、日本の老人ホームに相当する施設も少なく、入院、入所に依存しないコミュニティでの在宅高齢者支援モデルの開発が急がれています。

### (4)CTOPプロジェクトの4ヶ所のモデル開発:

CTOPでは、タイ国内の4ヶ所のタンボン(町に相当)をプロジェクトサイトとして指定。それぞれのサイトでは各地域のニーズや状況を把握したうえで、地域のボランティアなどコミュニティの資源を活用し様々な事業を実施中。代表的な事業は下記のとおりです。

- ・ **北部のチェンライ**では、高齢者の生活習慣病である「**高血圧**」について、地域のボランティアの協力を得て、食事、運動等の生活改善を促進する事業を実施中しています。
- ・ **東北部のコンケン**では、白内障などの「**眼疾患**」について、研修を受けた地域のボランティアが検診→入院治療→自宅復帰・生活支援の一連の流れをフォローすることにより、医療等へのアクセスを改善する事業を実施しています。この背景には眼科医の不足などにより医療へのアクセスが制限されている現状があります。
- ・ **中央部のノンタブリ**では、自治体が設立した**リハビリテーションセンター**を老人クラブが主体的に運営。病院から退院した高齢者が家庭・地域での生活を円滑に送れるようにリハビリテーションが行われるなど、多目的センターとして地域での高齢者福祉や高齢者クラブ活動の拠点となっています。
- ・ **南部のスラタニ**では、交通が不便な地域において、病院や自治体の担当者などが合同で出張して、検診や高齢者手当等にかかる相談を行う「**モバイル・ワンストップサービス**」事業を毎月実施中しています。

### (5)CTOPプロジェクトの期待:

CTOP プロジェクトにおいては、これらのモデル事業の設計・運用に関する情報を文書化するとともに、モデル事業の経験から、コミュニティにおける高齢者支援活動を自律的で自立可能なものとするための「普遍的な教訓」を抽出し、文書化しています。

このようなCTOPプロジェクトの成果は、今後、全国的に活用されることが期待されており、7月29日の全国会議は、CTOPプロジェクトの成果を全国に普及させるための機会と位置づけられています。

別添:CTOPプロジェクト関連資料